

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか



課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか



戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
【1 災害に強く犯罪の少ない安全安心なまちづくり】 ・現在、上町断層帯地震が発生した場合、天王寺区は他区に比して被災率が高いと予測されていることから、こうした地震による災害や風水害が発生した際に被害を最小限にとどめることができるよう、区民が自主的・主体的に事前対策を講じるようにする。	【1-1 災害時における自助の取組の促進】 ・災害の発生時に区民が自分自身と家族の命を自ら守ることが出来るように、事前対策としての「自助」の取組を促進する。	【1-1-1 地域住民による自主的な勉強会等の開催の促進】 ・連合振興町会をはじめとする地域活動団体が、地域住民の自助意識・共助意識を喚起するために、高層マンションの管理組合の役員等に対する災害への心構えと準備に関する勉強会等を自主的に開催・運営できるよう、関係局や消防署と連携して意識啓発及び勉強会等の開催・運営の支援を行う。	チャレンジ目標 ・地域住民の自助意識・共助意識を喚起するための勉強会等の開催支援 年3回 年9回	平成22年度 ・職員による説明会の実施 年3回 〔予算額 ー 〕	〔9月末までの実績〕 ・勉強会の支援(5回) ・各連合振興町会に、勉強会等開催のための資料DVDを配付 ・50戸以上の町会未加入マンションのリストアップ 〔10月以降の予定〕 ・地域活動団体等の自主的な勉強会の開催を消防署と連携して支援(4回)
【上町断層帯地震による天王寺区内の被害予測】 ・死者 573名 (人口千人当たり9.2人 24区中第2位) ・全半壊家屋 6,813棟 (建物数比66.31% 24区中第4位) ・避難者数 区全体 10,928人 (小学校区別) 天王寺 566人 大江 1,090人 聖和 1,141人 五条 1,898人 桃陽 1,371人 生魂 784人 味原 1,359人 真田山 2,719人 ・帰宅困難者数 39,300人(24区中5位)	どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・家具の固定率 世帯数の50% ・災害時の持ち出し品等の用意率 世帯数の50%(参考) ・静岡県内閣府が2007年に行った調査によると、「一部でも家具を固定している」と答えた方は63%。	【1-1-2 家具固定ワークショップの開催】 ・地震災害に対する自助の取組についての意識の浸透と実践を図るために、既存の地域活動団体に対しては地域防災リーダーが主体となり、町会未加入のマンション等には区役所職員が主体となって、地震対策としての家具の配置の見直しや固定等を学ぶワークショップを開催する。	・地域防災リーダーによるワークショップ(振興町会・PTAなどを対象) 年3回 ・区役所職員によるワークショップ(マンションの管理組合の役員などを対象) 年3回	平成21年度～22年度で、連合振興町会エリア単位でワークショップ開催 11回 〔21決算額 2,604千円〕 〔22予算額 2,355千円〕	〔9月までの実績〕 ・地域防災リーダーによるワークショップ(1回) ・区職員によるワークショップ(1回) 〔10月以降の予定〕 ・地域防災リーダーによるワークショップ(2回) ・区職員によるワークショップは、高層マンションを中心に検討し、実施(2回)
	【1-2 災害時における共助の取組の促進】 ・地域住民が実際の災害に的確に対応できるよう自主的・主体的に行う避難誘導訓練、安否確認訓練、救出救護訓練、避難所開設・運営訓練を支援するとともに、災害時に地域の住民が支え合って要援護者を支援することができるよう顔の見える範囲で日常的な見守りの仕組みづくりを支援する。	【1-2-1 収容避難所開設・運営訓練等の支援】 ・実際の災害に際し、地域住民が安全に避難するとともに、収容避難所での避難者の受入が的確に行われるよう、振興町会別の避難誘導、安否確認、救出救護及び連合振興町会による収容避難所開設・運営に係る図上訓練及び実地訓練を実施する。	・2連合振興町会で実施 ・避難マニュアルの整備	平成21年度～22年度で、3連合振興町会エリア(聖和・大江・五条)で収容避難所開設・運営訓練実施 〔21決算額 296千円〕 〔22予算額 664千円〕	〔9月までの実績〕 ・天王寺連合、生魂連合で実施決定 〔10月以降の予定〕 ・天王寺連合では、12月中旬に実施予定 訓練実施後は、避難マニュアルを作成 ・生魂連合の実施時期は調整中
	どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・連合振興町会単位での自主的・主体的な災害避難訓練の実施 ・振興町会単位での災害時の要援護者の避難支援プランの作成	【1-2-2 避難マニュアルの改訂】 ・収容避難所開設・運営訓練を実施した連合振興町会で訓練実施時に作成した「避難マニュアル」について、訓練の振り返りを基にして内容をより実践的なものとするとともに、振興町会単位及び連合振興町会としてのマニュアルに改訂し、配付する。	・3連合振興町会(聖和、大江、五条)で実施	平成21年度～22年度で、3連合振興町会(聖和・大江・五条)で収容避難所開設・運営訓練実施時に「避難マニュアル」を作成 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・訓練既実施連合のうち五条連合でマニュアル改定開始 〔10月以降〕 ・2連合振興町会(聖和、大江)については、地域活動協議会準備会等で議論 東日本大震災で判明した新たな課題の検討 よりきめ細かなものへの内容の充実

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか



課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか



戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
・現在、区内の街頭犯罪の発生状況は人口に比して高い割合にあり、特に、自転車盗、車上ねらいは減少傾向にあるが依然として発生件数が多く、部品ねらいについては増加しており、また、ひったくり、路上強盗については安全なまちのイメージに大きな影響を与えることから、これらの5つの街頭犯罪の発生件数を減少させる。	【1-3 区内の発生状況に応じた効果的な防犯対策の推進】 ・自転車盗、車上ねらい、部品ねらい、ひったくり、路上強盗を中心に、発生場所、時間帯などの発生状況进行分析し、それぞれの状況に応じた効果的な啓発活動や防止対策を行う。	【1-2-3 安心安全カードの普及】 ・地域住民を通じて天王寺区民版「安心安全カード」(標準モデル)をきめ細かく普及させるため、カードの意義、FAQなどを盛り込んだ普及者向けマニュアルを作成して、地域防災リーダー、地域における福祉活動団体役員やスタッフなどに配布し、地域でのきめ細かな普及活動を進めてもらう。 〔予算額 378千円〕	・普及者向けマニュアルの作成・配布 1,000部 ・地域防災リーダー、地域における福祉活動団体役員やスタッフなどによる普及活動の実施 カードの新規配布枚数 10,000枚 〔予算額 378千円〕	平成22年度 ・安心安全カードの地域の福祉活動等における普及啓発等 高齢者食事サービス等での配布、記入支援 2,000枚 町会での配布 5,000枚 各種団体の会合、イベント等での周知 3,000枚 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・普及者用マニュアル、利用者用リーフレット作成 ・普及者となるネットワーク推進員等への説明を行い、マニュアルを配布。 〔10月以降の予定〕 ・普及者となる災害救助青年部員等への説明会を行い、マニュアルを配布。 ・リーフレットは、安心安全カードとともに利用者に配付し、カードの活用の理解を深めてもらう。
		【1-2-4 災害時要援護者の避難支援プランの作成】 ・お互いの顔が見える振興町会エリア単位での高齢者や障害のある人の見守り体制である「ご近所の助け合いネット」の活動が開始されたエリアで、災害時における要援護者の避難支援プランの作成を進める。 〔予算額 ー 〕	チャレンジ目標 ・避難支援プランの作成された2振興町会エリアにおける避難支援プラン作成の対象者数の増 ・新たに「ご近所の助け合いネット」活動が開始される振興町会エリアにおける避難支援プランの作成	平成22年度 ・大江連合振興町会の2振興町会エリアでの避難支援プランの作成(数名) 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 〔10月以降の予定〕 ・既実施の大江連合振興町会の2振興町会と、対象者増に向けた話し合い ・「ご近所の助け合いネット」が、新たに開始される連合振興町会で、責任者(支援者のまとめ役)と、避難支援プランの作成に向けた話し合い
		【1-3-1 自転車盗対策】 ・被害状況の分析を基に警告ポスター、看板を犯罪多発箇所に重点的に設置する。 ・被害状況の分析を基に区民に二重錠の効用を効果的にPRする。 〔予算額 702千円〕	・マンションの駐輪場等多発箇所への警告ポスター、立て看板等の掲示 ポスター 300枚 看板 50枚 ・二つ目のカギ取り付けキャンペーン ワイヤー錠 2,000個(施錠忘れ警告ラベル付き)	平成21年度～22年度で ・犯罪発生が多い駐輪場等への啓発ポスター、立て看板等の掲示 看板:20枚 ポスター:300枚 ・区内各種イベントにおける啓発活動の実施 32回 ・防犯グッズの配布キャンペーンの実施 18回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・二つ目のカギ取り付けキャンペーン 12回実施、カギ730個取り付け(参考) 自転車盗の発生件数(平成23年7月末前年比) △90件(290件→200件) 〔10月以降〕 ・マンションの駐輪場等多発箇所への警告ポスター、立て看板等の掲示 被害状況・発生状況の分析を早急に行い、実施

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
【天王寺区内の街頭犯罪発生状況】 ・平成22年 1,101件 (前年比 -43件、-3.8%、市全体-14.2%) * 8手口合計の増減率は24区中19位 * 車上ねらい、部品ねらいをあわせると前年比で増加しており、市全体に比べると大変厳しい状態。 * ひったくり、路上強盗についても、件数は少ないが、横ばい状態となっている。 ・自転車盗 550(前年比-69、-11.1%、市全体-10.9%) ・車上ねらい 259(前年比-6、-2.3%、市全体-18.2%) ・部品ねらい 172(前年比+53、+44.5%、市全体-4.3%) ・ひったくり 39(前年比-13、-25.0%、市全体-35.5%) ・オートバイ盗 40(前年比-21、-34.4%、市全体-29.0%) ・自動車盗 21(前年比+7、+50.0%、市全体-2.2%) ・自動販売機ねらい 11(前年比-1、-8.3%、市全体-12.2%) ・路上強盗 9(前年比+7、350.0%、市全体+15.7%) * 最新データが別途配布資料として必要	どのような成果を目指すのか(アウトカム) 街頭犯罪の発生件数の減少 ・重点対策を行う5手口(自転車盗、車上ねらい、部品ねらい、ひったくり、路上強盗) 毎年、対前年比減 ・街頭犯罪全体 平成27年における対平成22年比30%の減	【1-3-2 車上ねらい・部品ねらい対策】 ・被害状況やこれまでの取組の効果の分析を基に警告ポスター、看板を犯罪多発箇所に重点的に設置する。 ・大阪府自動車整備振興会天王寺地区会の協力を得て、カーナビ装置の盗難防止措置の普及キャンペーンを実施する。 ・月極駐車場を中心にナンバープレート盗難防止ネジ等の装着キャンペーンを実施する。 〔予算額 1,207千円〕	・「車上ねらい」、「部品ねらい対策」として、月極駐車場、コインパーキングへの警告看板の設置 看板:60枚 ・「部品ねらい」対策として、関係団体と協力した盗難防止ネジ取り付けキャンペーンの実施 キャンペーン周知ポスター:1,300枚 ネジ取付け済み宣言シール:3,000枚	平成21年度～22年度で ・月極駐車場、コインパーキングへの啓発ポスター、立て看板等の掲示 看板:20枚、ポスター:400枚 ・区内各種イベントにおける啓発活動の実施 年32回(再掲) ・防犯グッズの配布キャンペーンの実施 年4回 〔予算額 - 〕	〔9月までの実績〕 ・ナンバープレート盗難防止ネジ取付けキャンペーン 2回実施、ネジ100個取り付け (参考) 車上ねらい・部品ねらいの発生件数(平成23年7月末前年比) △75件(257件→182件) 〔10月以降の予定〕 ・月極駐車場、コインパーキングへの警告看板の設置 被害状況・発生状況の分析を早急に行い、早急に実施
		【1-3-3 ひったくり・路上強盗対策】 ・被害状況の分析を基に警告ポスター、看板を犯罪多発箇所に重点的に設置する。 ・被害状況の分析を基に青色防犯パトロール車によるパトロールを拡充する。 ・被害状況の分析を基に実効性のある対策を区民に効果的にPRする。 〔予算額 640千円〕	・警告看板:10枚、ポスター:100枚 ・青色防犯パトロールの拡充 1グループ ・区内各種イベントにおける啓発活動の実施 年4回以上	〔予算額 - 〕	〔9月までの実績〕 ・区内各種イベントにおける啓発活動 2回実施 ・青色防犯パトロールの拡充 ・各連合振興町会へ青色防犯パトロールにかかる交付金制度を説明 (参考) ひったくり路上強盗発生件数(平成23年7月末前年比) △5件(30件→25件) 〔10月以降の予定〕 ・警告看板・ポスターの設置 被害状況・発生状況の分析を早急に行い、実施 ・区役所に職員用青色防犯パトロールが配置されることを契機に、改めて地域に対して普及啓発を実施
		【1-3-4 落書き対策】 ・区内の落書きの多い箇所で消去活動を行う。 〔予算額 485千円〕	・落書き消去活動 年1回	〔予算額 - 〕	〔9月までの実績〕 ・区内の落書きの発生状況について、区役所地域担当職員により調査開始 〔10月以降の予定〕 ・引き続き、発生状況を調査し、発生の多い場所を把握し、その状況に応じて該当する連合振興町会へ周知

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
・「子どもに対する声かけ事案」や「児童に対する虐待」が依然として発生するとともに、子育てに対する不安や悩みを抱える子育て世帯が増加していることから、声かけ事案の発生を抑止するとともに、子育て世帯が子育てに対する不安や悩みを解消していくことが求められている。 【大阪市こども相談センターにおける児童相談受付件数】 平成18年 7,962件 平成21年 8,797件 【大阪市における児童虐待件数】 平成17年 747件 平成20年 871件 【天王寺区内の子どもに対する声かけ事案発生状況】 平成21年度 14件 平成22年度 13件	【1－4 子育て世代の孤立化の防止と子どもの安全に向けた地域の取組の推進】 ・子育て世帯が子育てに対する不安や悩みを相互の交流や相談等を通じて解消できるよう、子育て支援サークルに新たな参加者を増やすとともに、子育て世代の交流や子育て支援関係機関と連携した相談機能の強化など、地域が総がかりで子育てを支援していく子育てに関する地域力を強化することにより、子育て世代の孤立化を防止する。 ・子どもに対する声かけ事案の発生を抑止するため、子どもの安全に関する地域住民の意識の高揚と情報の共有化を図ることにより、見守り活動等を活性化していく。	【1－4－1 子育て支援関係機関と連携した子育て世代の交流促進と相談・助言】 ・新たに設置される子育て支援センターと共同して子育ての不安や悩みの解消に向けた講習会を開催する。 ・クレオ大阪中央と共同して子育てに関する知識・情報の提供と相談・助言を行う「子育てママ連続講座」を開催する。 ・区内幼稚園・保育所の園(所)庭開放事業の周知と参加促進並びに開放事業を実施する幼稚園・保育所の拡大に向けて、開放月間などのキャンペーンを実施する。 ・子育て世代の交流促進と相談・助言などの子育てに関する情報を収集し、発信する。 ・子育て世代の交流促進と相談・助言の場として「子育て愛あいフェスティバル」を開催する。 〔予算額 722千円〕	・講習会 年2回開催 ・子育てママ連続講座 年1回(4講座)開催 ・新たに園庭開放事業を実施する幼稚園・保育所等 2か所 ・子育て情報紙の発行 年2回 ・携帯メールマガジンの登録者 500人以上 ・子育て愛あいフェスティバルの開催	平成22年度 ・出張子育て相談会の開催 年5回、24世帯参加 ・子育てママ連続講座の開催 年5回、24世帯参加 ・区内幼稚園・保育所(園)の所(園)庭一斉開放デーの実施 新規参加2所(園) ・子育て情報誌の発行 年2回、子育てメルマガ登録者 428人(平成22年12月1日現在) ・小学校等との情報交換会の開催 年4回、8校 ・スキルアップ講座の開催 年2回 ・子育て愛あいフェスティバルの開催 1,079人参加 〔予算額 900千円〕	〔9月までの実績〕 ・新たに園庭開放事業を実施する幼稚園・保育所等 2か所(14か所→16か所) ・子育て情報紙の発行 1回 ・携帯メールマガジンの登録者 658人(8月末現在) ・子育て愛あいフェスティバルの開催(8月24日) 〔10月以降の予定〕 ・子育てママ連続講座 年1回(4講座)開催(10月) ・子育て情報紙の発行 2回(11月、2月) ・講習会 2回開催(2、3月)
	どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・子育てに対する不安や悩みを抱えた子育て世帯で相談先や交流相手がない世帯の減少(子育て世代へのアンケート調査により検証) ・子どもに対する声かけ事案件数の減少 ・新規参加する子育て世帯の増加	【1－4－2 子ども安全マップ作成・普及の支援】 ・未来わがまち会議で作成した「地域での安全マップづくりマニュアル」を活用し、連合振興町会エリア単位で、声かけ事案の発生場所や危険箇所等の情報を盛り込んだ「子ども安全マップ」を作成し、配布する。 〔予算額 ー 〕	・2連合振興町会エリア	平成22年度 ・2連合振興町会(五条連合、桃陽連合)エリアで作成着手 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・実施に向けた検討・調整 〔10月以降の予定〕 ・2連合振興町会エリアで作成着手
		【1－4－3 子どもの安全に関する出前講座の開催】 ・警察と連携して、子どもの安全に関する出前講座を、子ども及び子どもを見守る大人を対象として開催する。 〔予算額 ー 〕	・それぞれ年2回以上	平成22年度 ・子供を対象とした出前講座の開催 年5回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・実施に向けた検討・調整 〔10月以降の予定〕 ・子どもを対象とした出前講座 3回 ・大人を対象とした講座に向けた検討・実施

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
・現在、単身世帯の増加と地域における人と人とのつながりの希薄化等が高齢者のひきこもりや虐待の増加をもたらしていると考えられ、また、高齢者が関係した交通事故の発生件数が増加していることから、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるようにしていくことが求められている。 【天王寺区の1世帯当たり人員】 平成17年 2.07人 平成21年 1.96人 【天王寺区における65歳以上の人口】 平成17年 11,387人 平成21年 12,713人	【1－5 高齢者のひきこもりや虐待の防止と交通安全意識の高揚】 ・高齢者の引きこもりや虐待防止を図るため高齢者の相互交流や地域住民との交流を促進し、地域における日頃からの見守りや支援等の活動を活性化するとともに、高齢者の交通安全に関する意識の啓発を図る。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・地域とのつながりのない高齢者の減少(高齢者へのアンケート調査により検証) ・「ご近所の助け合いネット」が見守る高齢者や障害のある人の数の増加 ・高齢者の交通事故件数の減少	【1－5－1 安心安全カードの普及】 ・地域住民を通じて天王寺区民版「安心安全カード」(標準モデル)をきめ細かく普及させるため、カードの意義、FAQなどを盛り込んだ普及者向けマニュアルを作成して、地域防災リーダー、地域における福祉活動団体役員やスタッフなどに配布し、地域でのきめ細かな普及活動を進めてもらう。(再掲) 〔予算額 378千円〕	・普及者向けマニュアルの作成・配布 1,000部 ・地域防災リーダー、地域における福祉活動団体役員やスタッフなどによる普及活動の実施 カードの新規配布枚数 10,000枚	平成22年度 ・安心安全カードの地域の福祉活動等における普及啓発等 高齢者食事サービス等での配布、記入支援 2,000枚 町会での配布 5,000枚 各種団体の会合、イベント等での周知 3,000枚 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・普及者用マニュアル、利用者用リーフレット作成 ・普及者となるネットワーク推進員、民生委員等への説明会を行い、マニュアルを配布。 〔10月以降の予定〕 ・普及者となる災害救助青年部員等への説明会を行い、マニュアルを配布。 ・リーフレットは、安心安全カードとともに利用者に配付し、カードの活用の理解を深めてもらう。
		【1－5－2 ご近所の助け合いネットの構築の促進】 ・お互いの顔が見える振興町会エリア単位での高齢者や障害のある人の見守り体制である「ご近所の助け合いネット」の構築を支援する。 〔予算額 173千円〕	・大江連合振興町会の2振興町会エリアの「ご近所の助け合いネット」対象者数の増 15名 ・大江連合振興町会の他の町会エリアでの構築支援 2振興町会 ・大江連合振興町会以外の連合振興町会におけるモデル振興町会エリアでの構築支援 1振興町会以上	平成21年度～22年度で ・講演会の開催 年1回 ・災害図上訓練の開催 年1回 ・大江連合振興町会エリアでのワークショップの開催 年3回 ・大江連合振興町会の2振興町会エリアでの「ご近所の助け合いネット」の構築 〔21決算額 350千円〕 〔22予算額 1,969千円〕	〔9月までの実績〕 ・支援者向け「ガイドブック」の作成 ・大江連合の2町会と、対象者増に向けた調整 ・大江連合の他の町会での実施に向けた連合役員会との検討 ・新たに取組を開始する連合について関係者間の調整 〔10月以降の予定〕 ・引き続き調整を行い取組を実施
		【1－5－3 愛あいふれあいまつりの開催】 ・高齢者、障害のある人等の相互交流・相談、地域住民とのふれあいや交流の機会及び福祉関係情報の提供を行う「天王寺愛あいふれあいまつり」を開催する。 〔予算額 427千円〕	・参加者数1,000名以上 50歳未満の参加者の割合の増	平成21年度 ・参加者数 755名 (50歳未満28.4%) 平成22年度 ・参加者数 820名 (50歳未満36.7%) 〔21決算額 472千円〕 〔22予算額 518千円〕	〔9月までの実績〕 ・実行委員会を開催 〔10月以降の予定〕 ・10月22日開催予定 ・幅広い年齢層の方に参加していただけるよう広報に努めていく。
		【1－5－4 高齢者交通安全講座の開催】 ・被害者、加害者両方の立場からの高齢者に対する交通安全意識の啓発のための説明会(出前講座)を、警察と連携して開催する。 〔予算額 ー 〕	・年4回以上	平成22年度 ・高齢者食事サービスの場で開催 年8回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・2回開催 真田山連合(10名参加) 老人福祉センター(9／14予定) 〔10月以降の予定〕 ・老人クラブのサークルなどにおいて10回開催予定

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
【2 快適でいきいきと暮らせるまちづくり】 ・現在、区内において、駐輪場が設置され ていたり放置禁止区域が指定されていたり するにもかかわらず、鉄道駅周辺の放置自 転車がなかなか減少しない状況にあること から、迷惑駐輪を防止し、区民が安全で歩 行しやすい環境づくりをめざす。	【2－1 迷惑駐輪をしにくい環境づくり】 ・区民との協働により、迷惑駐輪の防止や自転車の近 距離利用の抑制などの利用マナーの向上に関する区 民の意識の啓発・向上を図るとともに、駅周辺事業者 (鉄道事業者や周辺企業)と連携して、「迷惑駐輪をし にくい環境づくり」「駐輪場へ自転車を誘導するしくみづ くり」をめざす。	【2－1－1 迷惑駐輪防止の啓発と環境 づくり「DO！プラン」】 ・区民との協働により、鉄道駅周辺で迷 惑駐輪の防止に向けた啓発活動などを 行うとともに、各鉄道駅周辺の住民と「迷 惑駐輪をしにくい環境づくり」に関する意 見交換会などを開催し、可能なものから 順次実施する。 〔予算額 5,692千円〕	・啓発活動などの実施 (寺田町駅周辺 年5回以上、大阪 上本町駅周辺 年3回以上、鶴橋 駅周辺 年2回以上) ・啓発活動に向けた住民との「迷 惑駐輪をしにくい環境づくり」に関 する意見交換会などの開催 (玉造、桃谷、四天王寺前夕陽ヶ 丘 各駅周辺 それぞれ年2回)	平成22年度 ・啓発活動の実施 寺田町駅周辺 年5回 大阪上本町駅周辺 年3回 鶴橋駅周辺 年2回実施 ・地域の情報収集 四天王寺前夕陽ヶ丘、玉造、桃 谷 各駅周辺 〔21決算額 669千円〕 〔22予算額 2,030千円〕	〔9月までの実績〕 ・啓発活動 寺田町駅周辺 3回 大阪上本町駅周辺 5回 玉造駅周辺 1回 なお、玉造駅周辺については、目標に 掲げていなかったが、地域からの要請 もあり、建設局との啓発活動に参加 ・啓発活動に向けた住民との意見交換会 玉造駅周辺 1回 〔10月以降の予定〕 ・啓発活動の継続 ・意見交換会の開催
【天王寺区内の主な駅周辺の放置自転車 台数】 (各年とも2月時点) 駅名(◆は放置禁止区域の指定駅) 平成21年2月現在放置自転車台数→ 平成22年2月現在放置自転車台数 (削減率%) 四天王寺前夕陽丘◆371→18(95%) 寺田町◆1287→169(87%) 大阪上本町・谷町九丁目◆430→163 (62%) 桃谷◆249→141(43%) 鶴橋◆433→321(26%) 玉造◆454→505(▲11%増) 合計 3224→1317(59%)	どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・区内の鉄道駅周辺の放置自転車台数合計の減少 (区内全駅周辺で、平成25年度までに約600台減少)	【2－1－2 区民の自転車に関する交通 ルール・利用マナーの向上】 ・区民との協働により、小学校4年生を対 象とした自転車に関する交通ルール・利 用マナーの講習会を開催するとともに、 講習会の対象の拡大(たとえば子育て世 代、高齢者など)についてPTAを対象にし た講習会の対象拡大に向けての検討を 進める。 〔予算額 2－1－1に含む〕	・小学校4年生などを対象とした講 習会の開催 区内の市立小学校全8校で各年 1回 ・講習会の対象拡大に向けた未来 わがまち会議での方向づけ	平成21年度～平成22年度で ・区内の市立小学校全8校で講習 会を開催(その結果、全校の4～6 年生全員が当マナー講習会を受講 済み) 〔21決算額・22予算額は2－1－1 に含む〕	〔9月までの実績〕 ・講習会の開催 2校 〔10月以降の予定〕 ・未実施校において開催 ・講習会の対象拡大に未来わがまち 会議で調整
・花や緑があふれる、心豊かで快適な生活 環境をつくる。 都市 都市公園数 都市公園面積 市民1人 当たり面積 神戸 1596(所) 2594(ha) 16.93 (m2) 仙台 1563 1274 12.66 (中略) 川崎 1027 512 3.66 大阪 976 932 3.52	【2－2 区内への花苗の配置の推進と地域住民の憩 いの場の創出】 ・地域における花や緑を増やしていく市民ボランティア グループであるグリーンナリー天王寺によって育てられた 花苗が、区民が実感できるように配置され、生育される よう、その活動を支援する。 ・区民のふれあいやコミュニケーションが広がるよう、公 園などの公共スペースに区民が立ち寄り、語らい、憩 える場所を創出する。	【2－2－1 花とみどりのまちづくり事業 の推進】(「種から育てる地域の花づくり 支援事業」を含む。) ・花とみどりのまちづくり事業を推進し、 グリーンナリー天王寺会員による花苗の育 成や区内への植付け活動を支援する。 〔予算額 2,205千円〕	・会員による花苗の育成活動の支 援 年2回 ・花苗配布場所 33か所(前年度 実施分を含む)	平成21年度～平成22年度で ・会員による花苗の育成活動の支 援 年2回 ・花苗配布場所 25か所 〔21決算額 924千円〕 〔22予算額 2,641千円〕	〔9月までの実績〕 ・会員による花苗の育成活動の支援 2回 ・花苗配布 11か所増(25か所→36か所) 〔10月以降の予定〕 ・花苗配布 36か所
【緑化種花事業における天王寺区内の主 な花苗配布先】 (平成22年度) 25か所 【天王寺区内の大阪市営公園】 26か所 415,529m2 (内訳:街区公園 22 か所、近隣公園 1か所、地区公園 2か 所、動植物公園 1か所) 【公園に関する区民の意見】	どのような成果を目指すのか(アウトカム)	【2－2－2 憩いの場「ほっとすぽっと」 (仮称)の創出】 ・区民のふれあいやコミュニケーションが 広がるよう、区民が立ち寄り、個人やグ ループで語らい、憩える場所を、公共施 設や市営公園に創出する。 〔予算額 ー 〕	・公園事務所や住民の協力を得 て、「ほっとすぽっと」(仮称)を創 出するための現地調査 区内2、 3か所 ・区民の「公園」や「憩いの場所」 に対するニーズや意識の把握とし て、「ほっとすぽっと」(仮称)を創 出する具体的方法を検討	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・「未来わがまち会議」における検討 1回 〔10月以降の予定〕 ・現地調査 区内2、3か所での実施に向け早急に 検討 ・具体的方法を検討

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
・死亡原因の上位を占める生活習慣病を予防し、区民の健康寿命(※)を延ばすことが求められている。 ※健康で自立して暮らすことができる期間 (大阪市の健康寿命の試算) 男性73.54年、女性77.40年 (大阪市健康増進計画「すこやか大阪21」(後期計画)より) 【生活習慣病にかかる死亡原因】 (大阪市 平成20年) 対全死亡者数比 1位…悪性新生物 31.9% 2位…心疾患 14.4% 3位…肺炎 11.0% 4位…脳血管疾患 9.2% 【天王寺区の国民健康保険加入者の特定健診受診率】 平成20年度 16.1% 平成21年度 16.6% 【週1回以上のスポーツ実施者の割合】 平成14年 33.0% 平成19年 45.7% (大阪市民のスポーツと健康に関する実態調査より)	【2－3 区民による健康づくりの促進】 ・区民が自らの身体の状態をよく知り、健康づくりの意識の高揚につながる健康診断等の受診率を向上させる。 ・区民の健康づくりに関する事業を区民との協働で実施するとともに、スポーツ・レクリエーションに関する様々な情報を提供することにより、区民の自主的な健康づくりを支援する。	【2－3－1 特定健診の受診勧奨】 ・世代別の特定健診受診率を踏まえ、世代に応じた効果的・重点的な受診勧奨を行う。 [予算額 ー]	・「我が身を知る」受診の有用性と生活習慣病が招く疾病の危険性を区ホームページに掲載 2月ごと ・区PTA協議会や学校保護者会を通じた中壮年層への啓発活動 ・未受診者層の把握を通じた効果的な個別受診勧奨の実施 ・区内の特定健診受診率 17.7%	[予算額 ー]	[9月までの実績] ・健診の有用性、生活習慣病が招く疾病の危険性を区ホームページに掲載 (2回) ・効果的な個別受診勧奨 区広報紙への掲載(3回) [10月以降の予定] ・上記取組の継続実施 ・区PTA協議会への協議を通じた中壮年層への啓発活動
	どのような成果を目指すのか(アウトカム) 天王寺区の国民健康保険加入者の特定健診受診率の向上 平成20年度16.1% →25年度20.0%	【2－3－2 区民の健康づくりに関する意識調査】 ・区民まつり等の多くの区民が集まる行事・イベントにおいて、区民の健康づくりに関する意識についてのアンケート調査を行う。 [予算額 ー]	・年4回	[予算額 ー]	[9月までの実績] ・健康づくりに関する意識調査(4回) 乳幼児健診保護者を対象 ・子宮頸がんに関するアンケート(1回) ・区民まつり参加者 [10月以降の予定] ・アンケート調査結果の分析 ・健康展でのアンケート調査の実施
		【2－3－3 区民との協働による健康づくり事業の実施】 ・区民との協働により主として中壮年層の区民を対象としたウォーキングを開催する。 [予算額 ー]	・3連合振興町会のエリア単位で参加者を募集し、各1回実施	[予算額 ー]	[9月までの実績] ・中壮年期を対象とした健康講座・ウォーキングを開催 (天王寺連合振興町会エリア) [10月以降の予定] ・引き続き2連合振興町会エリアにおいてウォーキング開催に向け地域との間で調整 ・健康展でのぷちウォーキング実施 ・春休みを利用した「親子ウォーキング」開催に向けた調整

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
		【2-3-4 「あっぷる体操」の拡大実施】 ・閉じこもりがちな単身高齢者の身近なつながりを持ち健康で自立した生活を送ることをめざした「あっぷる体操」を高年齢者食事サービスの場や高齢者を対象とした各種の出前講座開催時に実施する。 〔予算額 ー 〕	・高齢者食事サービスの場での実施 9地区 年40回以上 ・各種の出前講座開催時の実施 年30回以上	平成21年度 ・各種健康講座修了者の会「あっぷる天王寺」教室で実施 年12回 平成22年度 ・食事サービスの場で実施 2地区 年12回 ・出前講座開催時の実施 年4回 〔予算額 ー 〕	〔8月末までの実績〕 ・高齢者食事サービスの場での実施 9地区27回 各種の出前講座開催時の実施 22回 〔10月以降の予定〕 ・引き続き、高齢者食事サービス、各種出前講座開催時において「あっぷる体操」を実施
		【2-3-5 スポーツ・レクリエーション活動の情報提供】 ・総合型地域スポーツクラブをはじめ地域のスポーツ・レクリエーションに関する情報(参加者募集や活動内容など)を収集し、広く区民に提供する。 〔予算額 ー 〕	・区ホームページによる情報提供 年10回以上 ・携帯メールマガジンによる情報提供 年5回以上	平成22年度 ・区ホームページによる情報提供 年7回(平成22年12月1日現在) 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・区ホームページによる情報提供 7回 ・携帯メールマガジンによる情報提供 2回 〔10月以降の予定〕 ・引き続き、区ホームページ、携帯メールマガジンを通じた情報提供を実施
・区民が、自己実現、生きがいづくりに向け、生涯にわたって様々な文化活動に取り組むことができる環境づくりが求められている。 【市民が学びたいときに学べる環境づくりへの期待について(大阪市世論調査より)】 ・趣味・教養から資格取得まで幅広い学習機会の提供を希望 55.0% ・生涯学習の場の整備 44.6% ・生涯学習の情報提供・学習相談の充実 38.2% 【天王寺区生涯学習講座の参加者数】 平成20年度 参加者数 8,760人 平成21年度 参加者数 8,846人	【2-4 文化活動の機会の提供と情報の発信】 ・区民が身近なところで文化活動ができるよう、講習・講座等の学習機会を提供するとともに、文化活動に関する情報を収集し、発信する。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・自己実現や生きがいづくりに向けた自主的な学習や文化活動を行ったことのある区民の割合の増加(区民モニター等により検証する予定)	【2-4-1 区民の自主的な学習や文化活動の支援】 ・区内各施設、生涯学習ルームと連携して、自主的な学習や文化活動の機会を提供する。 ・区民の自主的な学習や文化活動に関する情報を収集し、様々な手法で広く区民に提供する。 〔予算額 1,598千円〕	・生涯学習講座への参加者数 8,900人以上 ・区ホームページによる情報提供 年6回以上 ・携帯メールマガジンによる情報提供 年6回以上 ・区広報紙への「区生涯学習ルーム一覧表」(保存版)の掲載 年1回	平成21年度 ・生涯学習講座への参加者数 8,846人 ・区ホームページによる情報提供 年6回 ・区広報紙による情報提供 年7回 平成22年度 ・区ホームページによる情報提供 年6回(平成22年12月1日現在) ・区広報紙による情報提供 年2回 〔21決算額 1,404千円〕 〔22予算額 1,750千円〕	〔9月までの実績〕 ・生涯学習講座への参加者数 3,027人 ・区ホームページによる情報提供 7回 ・携帯メールマガジンによる情報提供 3回 ・区広報紙への「区生涯学習ルーム一覧表」(保存版)の掲載 1回 〔10月以降の予定〕 ・引き続き、区ホームページ、携帯メールマガジンを通じた情報提供を実施

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
・地域における人々のつながりや、子どもへの関心が希薄化しており、また、子どもの体験活動への参加機会の減少、子ども同士で遊ぶ機会が限られている状況にあることから、次世代を担う子どもや青少年が、様々な体験、世代を越えた交流の機会や地域でのつながりづくりなどを通じて、心身ともに健やかに成長できるような環境をつくる。 【青少年の育成に関する地域・社会の役割について(大阪市世論調査2007)】 地域全体で子どもを育て・守る雰囲気を作し、くみを生み出す「地域の教育力」は、自身の子ども時代と比べて ・以前より低下している 43.9% ・わからない 30.1% ・以前と変わらない 15.0% ・以前より向上している 6.7% 子どもの育成支援について、 ・家庭、地域、学校、企業、行政が連携してそれぞれの役割を担いながら社会全体で取り組むべきだ 90.5% ・子育てしやすい職場環境の整備など、企業が果たすべき役割が重要である 85.1% ・地域住民が地域の子どもの関心を高め、地域住民の自覚を向上する必要がある 84.9% 【天王寺区内の子供会の活動状況の推移】 平成16年度 単位子供会数 33 会員数 子ども522人 指導者・育成者283人 平成21年度 単位子供会数 30 会員数 子ども393人 指導者・育成者164人	【2－5 子ども・青少年の体験活動や交流の推進】 ・家庭・学校・地域が連携して子どもたちを守り育てる取組を進めるとともに、次世代を担う子どもや青少年が、地域に愛着をもち、地域社会の一員としての自覚や地域に貢献できるボランティア精神を培うことができるよう、子どもや青少年による様々な施設体験や高齢者・障害者とのふれあい・交流などの活動を支援する。 ・次世代を担う子どもが年代を越えて交流し、地域への愛着をはぐくむことができるよう、子供会活動を支援する。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・「こどもの環境ととのえ隊」の地区レベルの活動を平成27年度までの5年間に全地区で実施 ・天王寺区ジュニアクラブ会員のうち年間1回以上活動に参加する会員を300人以上確保(平成27年度) ・子供会会員数を毎年450人以上確保	【2－5－1 「こどもの環境ととのえ隊」活動の支援】 ・青少年の健全育成、非行防止を目的として、地区レベルで各団体が連携して行う「こどもの環境ととのえ隊」活動を支援する。 〔予算額 60千円〕	・「こどもの環境ととのえ隊」の地区レベルの活動 3地区 各地区年1回以上	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・「こどもの環境ととのえ隊」の地区レベルの活動 1地区で実施 〔10月以降の予定〕 ・2地区における活動の実施に向け関係者と調整
		【2－5－2 天王寺区ジュニアクラブの活動の支援】 ・学校・家庭・地域との協働により、小学校4年生から中学・高校生を対象に、地域行事へのボランティア参加や施設体験などを行う天王寺区ジュニアクラブの活動を支援する。 〔予算額 306千円〕	・活動 年5回 ・会員数 新規登録20人以上 ・年間1回以上活動に参加した会員数 60人以上	平成21年度 ・活動回数 年3回 ・新規会員数 10人 ・年間1回以上活動に参加した会員数 34人 平成22年度(平成22年12月1日現在) ・活動回数 年3回 ・新規会員数 47人 ・年間1回以上活動に参加した会員数 46人 〔21決算額 66千円〕 〔22予算額 306千円〕	〔9月までの実績〕 ・活動 2回 ・会員数 新規登録25人 ・年間1回以上活動に参加した会員数 51人 〔10月以降の予定〕 ・活動 3回予定 ・会員数の増加、
		【2－5－3 子供会活動の支援】 ・子供会の活動予定・活動報告と会員募集の情報を発信する。 〔予算額 ー 〕	・区広報紙による情報提供 年1回以上 ・区ホームページによる情報提供 年4回以上 ・携帯メールマガジンによる情報提供 年4回以上	平成22年度 ・区広報紙による情報提供 年1回 ・区ホームページによる情報提供 年4回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・区ホームページによる情報提供 4回 ・携帯メールマガジンによる情報提供 1回 〔10月以降の予定〕 ・区広報紙による情報提供 1回 ・引き続き、区ホームページ、携帯メールマガジンを通じた情報提供を実施
・現在、いじめ、児童虐待やDV(ドメスティックバイオレンス)など深刻な人権侵害が起こっている状況にあることから、人権尊重・男女共同参画社会に向け、一人ひとりの人権が尊重され、男女がともに輝く豊かで活力ある社会の実現をめざす。 【天王寺区における人権相談件数】 平成19年度 15件 平成20年度 8件 平成21年度 2件 平成22年度 3件	【2－6 人権意識、男女共同参画意識の高揚】 ・人権意識、男女共同参画意識の高揚を図るため、講演会の開催や様々な啓発活動を行う。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・人権意識の高まった区民の割合の増加(区民モニター等により検証する予定) ・男女共同参画意識の理解が深まった区民の割合の増加	【2－6－1 人権意識の高揚に向けた啓発活動】 ・区民まつりや各種団体が開催する行事において、資料や案内チラシへの標語の掲載、啓発物品の配布を行うなど人権意識の高揚に向けた啓発活動を実施する。 ・いじめ、児童虐待、DVなどをテーマにした講演会を開催する。 〔予算額 2,662千円〕	・区民まつりや各種団体の行事のちらしやプログラムなどへの標語の掲載 年10回以上 ・講演会の開催 年3回以上 参加者数合計 500人以上	平成21年度～平成22年度で ・標語の掲載 年16回 ・講演会の開催 4回 参加者数合計525人(平成22年12月1日現在) 〔21決算額 3,186千円〕 〔22予算額 3,286千円〕	〔9月までの実績〕 ・標語の掲載 16回 〔10月以降の予定〕 ・講演会の開催 3回(10月、12月、3月に予定)

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
【大阪市におけるDV相談件数】 平成19年度 898件 平成20年度 911件 平成21年度 1,064件	(区民モニター等により検証する予定)	【2-6-2 男女共同参画意識の高揚に 向けた講演会の開催支援】 ・区女性団体協議会が主催する男女がと もに地域活動に参加できる「男女共同参 画社会の実現」をテーマにした講演会の 開催を支援する。 〔予算額 ー 〕	・講演会の開催 年1回 参加者 数150人以上	平成21年度 年1回 参加者数 130人 平成22年度 平成23年2月実施予 定 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・講演会の開催に向けた支援 〔10月以降の予定〕 ・講演会の開催 1回 (3月に予定)
・障害のある人の社会参加を推進していく ため、障害のある人の自立のための相談 や支援機能を強化するとともに、障害のある 人のひきこもりや孤立化の防止に向けて 地域住民とのふれあいや交流を促進し、障 害のある人に対する住民の理解をより一層 深めていくことが求められている。 【天王寺区 障害者手帳所持者数】 平成19年度 2,889人 平成21年度 3,179人 【大阪市内の委託相談支援事業所】 37箇所(平成22年) (天王寺区内は無し)	【2-7 障害のある人に対する自立支援に関する情報 提供と相談支援及び地域住民の障害のある人に対する 理解と交流の促進】 ・障害のある人が安心して自立した生活が送れるよう に、地域にある支援機関(障害者福祉サービスを提供 する事業所)に関する情報の発信や相談支援について の区役所の機能を充実させる。 ・地域住民との障害のある人とのふれあいや交流の場 を設けることにより、障害のある人の社会参加について の地域住民の理解を深める。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・相談コーナーや区役所における相談件数の増加 ・障害のある人の社会参加について理解を持つ住民の 増加(住民へのアンケート調査により検証)	【2-7-1 障害のある人に対する相談 支援】 ・障害のある人が身近なところで相談を 受けることができるよう、イベント開催時 に相談コーナーを設けるとともに、区役 所での相談を実施する。 〔予算額 ー 〕	・イベント開催時の相談コーナー の開設 年1回以上 ・区役所での相談の実施 年1回 以上	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・天王寺区自立支援協議会において 相談支援の取組を説明 〔10月以降の予定〕 ・「愛あいふれあいまつり」において相談 窓口を開設(10月) ・区役所での相談の実施(1月)
		【2-7-2 相談支援機関に対する福祉 サービス情報の提供】 ・障害者福祉サービスを提供する事業所 の案内などの福祉サービスに関する情 報を収集し、相談支援機関等に提供す る。 〔予算額 ー 〕	・相談支援機関等に対する情報の 提供 年2回以上	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・障害者等に対する情報の提供 「天王寺区障害者支援マップ」の 配布・配架 ・相談支援機関等に対する情報の提供 〔10月以降の予定〕 ・区ホームページ等を活用し相談支援機関等 に対する情報の提供
		【2-7-3 愛あいふれあいまつりの開 催】(再掲) ・高齢者、障害のある人等の相互交流・ 相談、地域住民とのふれあいや交流の 機会及び福祉関係情報の提供を行う「天 王寺愛あいふれあいまつり」を開催す る。 〔予算額 427千円〕	・参加者数1,000人以上 50歳未満の参加者の割合の増	平成21年度 ・参加者数 755人 (50歳未満28.4%) 平成22年度 ・参加者数 820人 (50歳未満36.7%) 〔21決算額 472千円〕 〔22予算額 518千円〕	〔9月までの実績〕 ・実行委員会を開催 〔10月以降の予定〕 ・10月22日開催予定 ・幅広い年齢層の方に参加して いただけるよう広報に努めていく
		【2-7-4 てんのうじふれあいスポー ツ事業】 ・地域の中で、気軽に世代間交流や障害 のある人とのふれあいの輪を広げるため に、総合型地域スポーツクラブなどと連 携し、あらゆる世代が誰でも簡単に楽し めるスポーツ(ポッチャ)を様々な場所で 実施する。 〔予算額 339千円〕	・地域福祉アクションプラン推進委 員会によるポッチャ競技の開催支 援 年3回 ・総合型地域スポーツクラブによる ポッチャ競技の開催支援 年3 回 ・区民ポッチャ大会の開催 年1回	平成21年度～22年度で ・地域福祉アクションプラン推進委 員会によるポッチャ競技の開催 5 回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・ポッチャ競技の開催の向けた 関係団体との調整 〔10月以降の予定〕 ・地域福祉アクションプラン推進 委員会によるポッチャ競技の 開催支援(10月) ・総合型地域スポーツクラブによる ポッチャ競技の開催支援 (12月) ・区民ポッチャ大会の開催 (2月)

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
【3 にぎわいと活力のあるまちづくり】 ・区内には四天王寺や天王寺動物園をはじめ多くの歴史的・文化的な資産が存在し、伝統行事やイベント等が開催されており、区外からも多くの人々が来訪しているが、こうした多くの人の来訪が区内のにぎわいづくりやまちの活性化に必ずしも結びついていない。 ・また、「上本町YUFURA」の開業や阿部野橋ターミナルビルの建替えなど、にぎわいづくりにつながる民間事業者の動きが活発になっている。 ・こうした状況にあることから、民間事業者と協働して、区内の歴史的・文化的な資産を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくりをめざす。	【3－1 天王寺・阿倍野エリアにおける民間事業者、地元商店街等との連携】 ・阿倍野歩道橋の架け替え、阿部野橋ターミナルビルタワー館の竣工(平成26年度末予定)、天王寺動物園開園100周年(平成27年度)に合わせて、民間事業者や地元商店街と連携したイベントを開催し、民間事業者等のノウハウや情報発信力を活用して天王寺区の魅力を発信していく。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・観光客など区来訪者数の増大(主要集客施設の来訪者数の定期的チェックやイベントへの参加者数の増大などにより検証する予定)	【3－1－1 天王寺動物園等と連携したスタンプラリーの実施】 ・天王寺・阿倍野エリアの来訪者にエリアの魅力を発信するため、天王寺動物園、観光ボランティアガイド協議会、Welcomingアベノ天王寺、地元商店会等と連携して、スタンプラリーを実施する。 〔予算額 907千円〕	・参加者数 1,000人以上	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・スタンプラリー開催に向けた検討 ・区広報紙等を活用した開催の周知 〔10月以降の予定〕 ・スタンプラリー開催(12月～1月)
		【3－1－2 民間事業者との連携によるエリアの魅力を発信】 ・Welcomingアベノ天王寺等の民間事業者と連携して、エリア内の魅力ある観光スポット、祭り・行事などの情報を発信する。 〔予算額 ー 〕	・情報発信回数 年3回以上	平成22年度 ・まちづくりフォーラムの開催を通じた情報発信 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・民間事業者との連携によるエリアの魅力を情報発信 4回 〔10月以降の予定〕 ・情報発信媒体の拡大の検討・実施
		【3－1－3 天王寺・阿倍野エリアの商店会の活動支援】 ・経済局の地域経済活性化支援事業を活用して、天王寺駅周辺地区の商店街が行う空き店舗などを活かした活性化事業を支援する。 〔予算額 ー 〕	・活性化事業の実施 年1回以上	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・活性化事業の実施に向けた検討 〔10月以降の予定〕 ・Welcomingアベノ天王寺の事業と連携した活性化事業の開催支援(12月)
	【3－2 上本町地区における民間事業者、地元商店街等との連携】 ・「上本町YUFURA」や新歌舞伎座の開業による民間事業者や近鉄大阪上本町駅周辺地区活性化協議会など地元商店会の動きと連携し、大阪の陣400周年(平成26年度及び27年度)に向けて、大阪城、三光神社、安居神社、一心寺など歴史的・文化的な資産が点在する上町台地の魅力を発信し、上本町地区を中心とする天王寺区内のにぎわいづくりにつなげていく。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・観光客など区来訪者数の増大(主要集客施設の来訪者数の定期的チェックやイベントへの参加者数の増大などにより検証する予定)	【3－2－1 上町台地周遊ガイドマップの作成】 ・中央区など周辺エリアの来訪者が天王寺区を訪れるよう、大阪城天守閣、歴史博物館、大阪観光ボランティアガイド協議会等の協力を得て、区域を越えた上町台地の周遊コースを設定し、ガイドマップを作成し、同マップを活用したスタンプラリーを実施する。 〔予算額 3-1-1に含む〕	・ガイドマップの作成 10,000部 ・スタンプラリーの参加者数 1,000人以上	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・ガイドマップの作成に向けた検討 〔10月以降の予定〕 ・ガイドマップの完成・配布(10月) ・スタンプラリーの開催(12月～1月)
		【3－2－2 民間事業者との連携による上町台地の魅力を発信】 ・民間事業者と連携して、彦八まつりなどの区内の行事・イベントの情報を発信する。 〔予算額 ー 〕	・情報発信回数 年3回以上	平成22年度 ・まちづくりフォーラムの開催を通じた情報発信 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・民間事業者との連携による上町台地の魅力の情報発信 6回 〔10月以降の予定〕 ・情報発信の継続

今、何が課題で、その解決によってどのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
・消費者の購買形態の変化に伴う客離れや店舗経営の後継者不足を原因とする地域商店の廃業、空き店舗の増加などによって商店街が衰退・空洞化し、まちのにぎわいが失われつつあることから、商店街の活性化を図り、地域のにぎわいづくりにつなげていく。 【大阪市 小売商業実態調査 報告書(平成19 年3月 大阪市経済局)】 空き店舗等の状況 空き店舗の増加が、商店街の新陳代謝を阻害する原因となっている。一方で、商店街による家主等への働きかけも不十分な状況にある。 空き店舗率は6.65%、空き地率は0.69%、空き店舗と空き地をあわせた値は7.25%。また仕舞屋(しもたや、廃業後住居等としての使用)率は5.37%で、あわせた総空き店舗率は11.88%。 【4 つながり合い、支え合い、助け合うまちづくり】 ・少人数世帯・高齢単身世帯(独居老人世帯)の増加、マンションなど集合住宅の増加などにより、地域における人々のつながりの希薄化がみられる一方で、高齢単身者や障害のある人の見守り、虐待防止も視野に入れた子育て支援、環境問題への対応など、地域コミュニティに期待される役割は大きく、かつ多様化してきている。 ・地域活動団体は活発に活動しているが、地域振興町会の加入率の低下、特定の役員等への行政協力依頼の集中、役員の高齢化や後継者・新たな担い手不足などにより、地域課題解決に取り組む地域の活動力の低下が懸念されている。 ・以上の状況にあることから、地域コミュニティの復興に向け、より多くの地域住民が地域に関心を持ち、地域課題の解決に向けて協働して活動する地域住民の取組を積極的に支援していくことが求められている。	【3－3 商店街の活性化】 ・区商店会連盟や大阪商工会議所天王寺・阿倍野支部と連携し、区内の商店街の活性化に向けた商店会の取組を支援する。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・商店街の空き店舗数の減少 【4－1 地域住民同士の交流を促進し、自ら住んでいる地域に関心を持ってもらう】 ・地域住民同士の交流を促進するための地域の取組の情報を積極的に発信するとともに、防災・防犯といった点から地域におけるつながり、助け合いの大切さを訴え、住民の地域への関心を高め、地域活動の新たな担い手の掘り起こしにつなげる。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・地域活動団体の活動に新たに参画した人の増 ・地域活動団体の組織率の向上	【3－2－3 「上本町YUFURA」周辺の商店会の活動支援】 ・経済局の地域経済活性化支援事業を活用して、近鉄大阪上本町駅周辺地区活性化協議会等が行う大阪上本町駅周辺の商店街の活性化事業を支援する。 〔予算額 ー 〕	・活性化事業の実施 年1回以上	平成22年度 ・ランチタイムコンサートなどのキャンペーン実施 年4回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・「うえほんバル」の開催に向けた検討 〔10月以降の予定〕 ・「うえほんバル」の開催(11月)
		【3－3－1 店舗誘致などに向けた商店街活性化方策の支援】 ・集客力のある店舗の誘致など商店街の活性化方策について、大阪商工会議所天王寺・阿倍野支部等と連携して、各商店会と協議を進める。 ・経済局の地域経済活性化支援事業を活用して、空き店舗などを活用したストリートライブなど、商店街が行う活性化事業を支援する。 〔予算額 83千円〕	・活性化事業の実施 年1回以上	平成22年度 ・区商店会連盟との「100円商店街」見学会と実施に向けた検討 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・各商店会との協議 1回 ・ストリートパフォーマンスの活用登録制度の開始 〔10月以降の予定〕 ・各商店会との協議
		【4－1－1 地域活動団体の各種活動の情報発信】 ・地域住民同士の交流の促進に向け、地域振興会をはじめ各種団体と連携し、地域活動に参加していない住民や区外からの転入者に対し、活動への参加の呼びかけや活動情報の発信を行う。 ・地域活動に参加していないマンション等集合住宅の住民と地域活動団体との交流の機会を提供する。 〔予算額 ー 〕	チャレンジ目標 ・区広報紙による活動参加の呼びかけ及び情報発信 年2回 ・集合住宅の住民と地域活動団体との交流の機会の提供 年4回	平成21年度～22年度で ・区外からの転入者に対する地域活動団体の活動紹介のリーフレットの配布 ・区広報紙による情報発信 3回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・区広報紙による各種活動の情報発信 4回 〔10月以降の予定〕 ・区広報紙による各種活動の情報発信 6回 ・町会未加入マンションを把握したうえで、管理組合等を訪問し、交流の機会提供を提案(4回)
		【4－1－2 地域活動掲示板の設置】 ・地域住民から目に付きやすい小学校の外塀等に掲示板を設置し、地域における各種地域活動団体等の活動状況を紹介する。 〔予算額 742千円〕	・小学校2校に設置	平成21年度 ・小学校2校(聖和、五条)に設置 平成22年度 ・生魂小学校、高津中学校及び真田山公園に設置 〔21決算額 1,235千円〕 〔22予算額 735千円〕	〔9月までの実績〕 ・設置予定の2小学校区において関係者に対して掲示板の設置趣旨を説明 ・掲示板既設置地区において利用団体から利用効果を聴取 〔10月以降の予定〕 ・2小学校区で、既設置の「掲示板」の利用 効果などを説明し、運営委員会の組織化を支援 ・設置場所等について運営委員会及び関係先と協議

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか

課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか

戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
		【4-1-3 区ホームページによる発信】 ・区ホームページにおいて、体系的に各 連合振興町会エリアごとの主な行事を掲 載するなど、総合的に地域情報を発信す る。 〔予算額 ー 〕	・区ホームページによる情報発信 及び参加呼びかけ 年2回	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・区ホームページによる 情報発信 5回 地域活動協議会の情報を掲載 (7月～) 9連合振興町会の情報を掲載 (8月～) 〔10月以降の予定〕 ・区ホームページによる情報発信 6回 ・地域の主な行事においてアンケート を実施し、行事参加者の地域活動に かかる情報入手先等を調査し、 効果的な情報発信を検討
		【4-1-4 災害時の共助のためのつな がり合いの大切さの意識喚起】 ・マンション居住者を中心に、災害発生 時における助け合い(共助)のための日常 からのつながり合いの重要性を理解して もらうための説明会を開催する。 〔予算額 ー 〕	チャレンジ目標 ・振興町会未加入マンションの管 理組合等への防災課題の説明会 の開催 年9回	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・区地域振興会役員会で取組の 必要性を説明 ・50戸以上の町会未加入マンションの リストアップ ・各管理組合代表者への説明用 資料を作成 ・「リスト」をもとに、管理組合等へ接触 〔10月以降の予定〕 ・「リスト」をもとに、消防署等と連携し、 マンション管理組合代表者の理解を 求め、管理組合役員会での説明会を 開催
		【4-1-5 防犯面からのつながり合い の大切さの意識喚起】 ・小・中学生から募集した「あいさつ運動」 の標語・イラストを活用し、防犯協会等と 連携しながら防犯の面からの「あいさつ」 「声かけ」の重要性を発信する。 〔予算額 98千円〕	・区主催行事での啓発活動の実 施 年10回以上 ・行事等のプログラムなどへの標 語・イラストの掲載 年5回以上 ・あいさつカレンダーなどの作成・ 配布	平成22年度 ・区主催行事での啓発活動 年11 回 ・区内の市立小・中学校から標語・ イラストの募集 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・区主催行事での啓発活動の実施 4回 ・行事等のプログラムなどへの標語・ イラストの掲載 1回 〔10月以降の予定〕 ・区主催行事での啓発活動の実施 ・行事等のプログラムなどへの標語・ イラストの掲載 ・あいさつカレンダーなどの作成・配布 (1月)
		【4-1-6 「聖和寄合いまちづくり」の活 動支援】 ・「聖和寄合いまちづくり」のメンバーの地 域活動団体の活動への参画促進に向け てその活動を支援するとともに、新たなメ ンバーの掘起しと育成を図る。 〔予算額 245千円〕	・独自活動の支援 年5回以上 ・既存地域団体の活動協力の支 援 年2回以上 ・新たなメンバーの掘起し 5人 以上	平成22年度 ・独自活動の実施 年2回 ・既存地域団体の活動への協力 年1回 ・新たなメンバーの掘起し 2人 〔21決算額 104千円〕 〔22予算額 745千円〕	〔9月までの実績〕 ・独自活動 清掃活動(毎月)、 防災フェスタ(7月) ・新たなメンバーの掘り起こし 4名 〔10月以降の予定〕 ・独自活動 清掃活動継続 ・新規メンバーの掘り起こしに 引き続き努力 ・地域活動協議会の設立に協力

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか



課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか



戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
		【4-1-7 てんのうじふれあいスポー ツ事業】 ・地域の中で、気軽に世代間交流や障害 のある人とのふれあいの輪を広げるため に、総合型地域スポーツクラブなどと連 携し、あらゆる世代が誰でも簡単に楽し めるスポーツ(ポッチャ)を様々な場所で 実施する。(再掲) 〔予算額 339千円〕	・地域福祉アクションプラン推進委 員会によるポッチャ競技の開催支 援 年3回 ・総合型地域スポーツクラブによ るポッチャ競技の開催支援 年3 回 ・区民ポッチャ大会の開催 年1回	平成21年度～22年度で ・地域福祉アクションプラン推進委 員会によるポッチャ競技の開催 4 回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・ポッチャ競技の開催のに向けた 関係団体との調整 〔10月以降の予定〕 ・地域福祉アクションプラン推進 委員会によるポッチャ競技の 開催支援(10月) ・総合型地域スポーツクラブによる ポッチャ競技の開催支援(12月) ・区民ポッチャ大会の開催(2月)
	【4-2 地域活動団体間の連携の促進】 ・地域活動団体間の情報交換、交流を支援し、共通の 課題への連携した活動を促進する。 ・連合振興町会のエリアで各種団体が連携して地域の 課題に取り組む地域活動協議会の設立を支援する。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・複数の地域活動団体が連携した活動の増	【4-2-1 地域活動団体の連携支援】 ・地域活動団体間の情報交換・団体相互 の連携・協力による活動を促進する。 〔予算額 ー 〕	・地域活動団体相互の連携・協力 による活動の提案 3項目以上 ・地域活動団体間の情報交換会 の開催 年4回以上	平成22年度 ・連携・協力による活動の提案 3 項目 ・地域活動団体間の情報交換会の 開催 年5回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・地域活動団体相互の連携・協力 による活動の提案 2項目提案 ・地域活動団体間の情報交換会 2回開催 〔10月以降の予定〕 ・コミュニティ協会天王寺区支部 協議会と連携し、団体間の相互 理解、交流にむけた情報交換会を 引き続き開催し、団体間の連携・ 協力による活動を検討
		【4-2-2 地域を越えた情報共有・交 流の促進】 ・区内の複数の連合振興町会エリアに共 通する課題やそのエリアでの取組につ いて情報交換を促進し、各エリアにお ける地域活動の活性化を図るため、各 エリアの活動状況をエリアを越えて共 有することができるよう、相互交流を 促進する。 〔予算額 ー 〕	・2連合振興町会エリア以上	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・2連合振興町会エリアで実施予定 大江連合振興町会のモデル町会エ リアの「ご近所の助け合いネット」 の活動を五条連合振興町会で紹 介することで合意 〔10月以降の予定〕 ・「ご近所助け合いネット」の展 開について、大江連合振興町会 のモデル町会と五条連合振興町 会の1町会とで情報交換を予定
		【4-2-3 地域活動プラットフォーム 間における活動の連携・協力の促 進】 ・未来わがまち会議と地域福祉ア クションプラン推進委員会が共同 して行う活動を支援する。 〔予算額 ー 〕	・未来わがまち会議と地域福祉ア クションプラン推進委員会の連 携協力による活動の提案 3項目 以上	平成22年度 ・双方の代表メンバーによる合 同会議の開催 年2回 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・未来わがまち会議と地域福祉ア クションプラン推進委員会の連 携協力による活動の提案に向け た検討 〔10月以降の予定〕 ・未来わがまち、アクション合 同会議開催(10月) ・ポッチャ大会の開催支援(2月)

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか



課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか



戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
		【4-2-4 地域活動協議会の設立支援】 ・「地域活動協議会」の設立を目指す地域の活動を支援する。 〔予算額 5,400千円〕	チャレンジ目標 ・3連合振興町会エリア	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 3連合振興町会エリアにおいて設立支援課題の抽出・意見交換を中心に開催し、準備会の概要を順次区ホームページに掲載 【大江】 3回準備会開催、9月29日準備会認定 【五条】 4回準備会開催、7月13日準備会認定 【聖和】 1回準備会開催、8月17日準備会認定 〔10月以降の予定〕 ・本格設置に向け支援を強化
【5 区役所力の強化】 ・地域課題の解決に向けた区民や地域活動団体による活動をより一層活性化するため、区役所が相談・支援などのコーディネート機能を果たしていくことが求められている。	【5-1 地域別担当制の充実】 ・連合振興町会のエリアごとに配置した地域担当者が、それぞれの地域事情に応じて地域住民や地域活動団体の活動を総合的に支援して、そのコーディネート力を向上させていく。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・各連合で地域課題解決に向けた議論や活動が行われ、区役所がコーディネート機能を果たしている状態	【5-1-1 地域別の課題の共有化】 ・各連合振興町会エリアごとに、地域活動団体や地域住民と地域の現状と課題を共有し、協働して課題解消に取り組む。 〔予算額 ー 〕	・各連合振興町会エリア単位の地域の課題解消に向けた提案	平成22年度 ・各連合振興町会エリア単位の地域の現状と課題の一定の整理 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・各連合振興町会エリア単位の地域の課題解消に向けた提案 大江、聖和、五条の3連合振興町会エリアの地域活動協議会準備会において、地域の課題把握と解消方策の提案に向けた議論を開始 〔10月以降の予定〕 ・地域活動協議会設立予定3連合以外の連合エリアについて、課題把握のための地域カルテの作成
・市政・区政に関する様々な意見を区の施策や事務事業により一層反映していくことが求められている。 【広聴に関する指標】 ・市民のご意見ボックス18件(平成22年4月～12月) (参考)平成21年度26件 ・市政・区政へのアイデア募集10件(平成22年4月～12月) (参考)平成21年度6件	【5-2 区民の意見を区政に反映させる仕組みの構築】 ・地域実情を踏まえて課題解決に向けた協働型区政を実現するため、区政に区民の意見を反映するとともに、区政について評価する仕組みをつくる。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・区運営方針及び区において実施される本市事務事業に対する意見・提案の収受及び施策・事業への反映	【5-2-1 区政会議の設置・運営】 ・「区政会議」を設置し、区運営方針及び区において実施される本市事務事業に対する意見・提案を伺い、施策・事業に反映させる。 〔予算額 1,084千円〕	・平成23年度上半期中に設置	〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・第1回会議開催(7月) 防災にかかる様々な意見を収受 〔10月以降の予定〕 ・第2回会議開催(10月) 地域安全、防犯、子育て支援、高齢者の見守りなどについて議論 ・第3回会議開催(11月～12月) 平成24年度区運営方針について議論
		【5-2-2 事業所等との情報共有体制の強化】 ・地域に関する情報や課題に適切に対応するため区役所内における情報共有を図るとともに、行政連絡調整会議等を活用した事業所等との情報共有体制の強化を図る。 〔予算額 ー 〕	・情報共有の推進	・課長会や行政連絡調整会議等の開催 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・区役所内における情報共有 課長会 概ね月2回開催 庁内グループウェアを活用した情報共有スキームを構築(7月～) ・事業所等との情報共有 行政連絡調整会議 隔月開催(防災対策など課題の情報共有) 〔10月以降の予定〕 ・庁内グループウェアの活用状況を踏まえ、活用上の課題を検証・工夫 ・区役所・事業所等における主な行事予定等の情報共有・公表地域に関する情報や地域課題等の情報共有の推進

今、何が課題で、その解決によって
どのような状態を目指すのか



課題解決に向け、どういった施策をいかに展
開するのか



戦略の実現に向け、23年度において、主にどのような取組・
事業を実施するのか

〈参考資料〉

経営課題	戦略	具体的取組	業績目標(アウトプット)	前年度までの実績	9月末進捗状況等
・普段、行政情報との接点が薄い区民にも、市政・区政に関する情報や地域活動に関する様々な情報を届けていくことが求められている。 【情報発信に関する主な指標】 ・区広報紙 発行部数33,000部／月 ・区ホームページアクセス件数 10,006件／月 (平成22年4月～12月)	【5－3 様々な情報媒体を活用した情報発信】 ・様々な情報媒体を活用し、きめ細やかな情報発信を進める。 どのような成果を目指すのか(アウトカム) ・区民モニターを活用した情報媒体の満足度調査 満足度70%	【5－3－1 民間広報誌等と連携した情報発信】 ・民間広報誌等と連携し、市政・区政に関する情報を掲載するなど新たな情報媒体の検討を行う。 〔予算額 ー 〕	・民間と連携した市政・区政に関する情報発信 年間3件以上	・他都市の取組等情報収集 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・民間広報誌発行元を訪問し、協力依頼 ・情報発信は未実施 地域金融機関での区広報紙の配架 〔10月以降の予定〕 ・民間広報誌の発行元と連携した区政情報の伝達 ・区広報紙の配架先の検討・調整
		【5－3－2 携帯端末を利用したメールマガジンの登録の促進】 ・携帯メールマガジン登録件数増加に向けた新たな取組を実施する。 〔予算額 ー 〕	・携帯メールマガジン登録件数増加 会員数 対前年度比 10%増	・天王寺区子育て情報メールマガジン登録者 453件(平成22年12月末現在) ・天王寺区情報メールマガジン登録者数 133件(平成22年12月末現在) 〔予算額 ー 〕	〔9月までの実績〕 ・登録促進の取組 区広報紙におけるQRコードの掲載など ・携帯メールマガジン登録件数 363件 (8月末現在(対前年度比+60%増)) 〔10月以降の予定〕 ・区携帯サイトの整理 ・情報発信の内容の工夫を行うなどニーズに対応した効果的な取組の実施